



桜舞サッカーフェスティバル 5/4・5

『第14回静内ロータリークラブ・日高しんきん杯桜舞サッカーフェスティバル』が、静内川左岸緑地公園サッカー場で開かれ、21チームが熱戦を繰り広げました。
町内から参加したA r e a r e a・F Cは惜しくも予選で敗れましたが、高静サッカースポーツ少年団は決勝まで進み、C A S C A V E L・U12（札幌）と対戦。試合は1-1で延長にもつれ込み、後半タイムアップ寸前にC A S C A V E L・U12に得点され2-1となり、惜しくも優勝は逃したものの、見事準優勝を飾りました。



第143回天皇賞(春)優勝 5/1

中央競馬伝統のG I レース『第143回天皇賞(春)』で、橋本牧場（静内こうせい町）生産馬のヒルノダムールがG I 初勝利を飾りました。
先頭が次々と変わる激戦の中、ヒルノダムールは、最後の直線で馬群から抜け出し、2着馬を半馬身しりぞけて、見事1着でゴールイン。
レース後、同牧場には続々と関係者が訪れ、喜びと祝福の声であふれていました。



白寿祝状授与 4/27

遠藤ソヨさんが白寿を迎え、入所先の特別養護老人ホーム蓬萊荘で、畑端副町長から祝状、川越社会福祉協議会会長から記念品が贈られました。
ソヨさんは旧三石町出身で、結婚してからも働きながら漁業を営む夫を支え、9人の子どもの恵まれました。
この日は、東京や埼玉、静岡などに住む家族もお祝いに駆けつけ、施設関係者とともに99歳の誕生日を喜びました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



白寿祝状授与 5/16

松田艶子さんが白寿を迎え、酒井町長から祝状、川越社会福祉協議会会長から記念品が贈られました。
艶子さんは旧静内町出身で、結婚してから長年農業を営み、8人の子どもの恵まれました。
現在は、石井病院に入院中で、週に1、2回お見舞いに来る三男の妻・芳枝さんとの会話が何よりの楽しみとのことです。酒井町長からのお祝いの言葉に「ありがとうございます」と元気にお礼を述べていました。



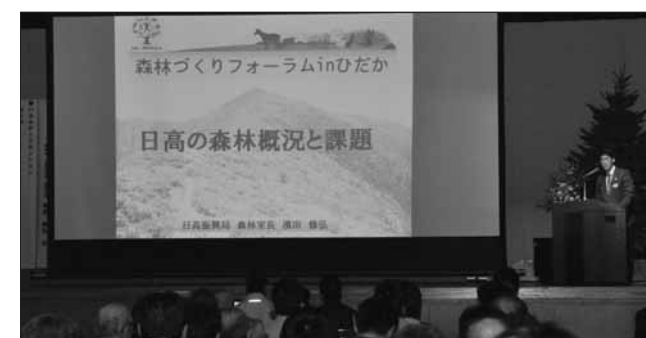
新ひだか町誕生5周年記念 第48回しずない桜まつり 5/3~15

『新ひだか町誕生5周年記念 第48回しずない桜まつり』が二十間道路桜並木で開かれ、期間中14万3千人の観桜客が会場を訪れました。
今年は低温の影響で、開花が9日、満開が12日と例年に比べ5日ほど遅れ、当初10日までだった桜まつり期間も15日まで延長しました。
来場者は桜の下を散歩したり、写真を撮ったり、思い思いに美しく咲き誇る二十間道路の桜を満喫していました。



みついし花だより共撰出荷 5/1

みついし花き振興会（桐山昭彦会長）による『みついし花だより』の共撰出荷が、町花き出荷施設で行われ、デルフェニウムやマトリカリア、シングルベルモなど約500ケースが今シーズン初出荷されました。
今回出荷された『みついし花だより』は、道内市場のほか、関東や関西方面にも出荷され、全国各地の方々の手元に届けられます。



国際森林年 森林づくりフォーラムinひだか 4/26

日高振興局など7団体でつくる実行委員会主催の国際森林年『森林づくりフォーラムinひだか』が町公民館で開かれました。
約500人の参加者は、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター神沼公三郎教授の基調講演「森林・林業の活性化と地場産業の振興」に熱心に耳を傾け、林業の活性化などについて理解を深めました。
2011年は国連が定めた国際森林年で、森林の保護などへの認識を高める年とされています。



牧野への入牧 5/16

町有牧野への牛の入牧が始まり、105頭のホルスタイン牛が広い牧草地に放たれました。預けた農家の方々は、秋の退牧までにたくましく成長することを願っていました。



A i b a 祭 5/12

ホッカイドウ競馬応援イベント『A i b a 祭』がさくらセモノーホールで開催され、会場に訪れた競馬ファンは、馬券を片手にモニターを眺め、レース結果に一喜一憂していました。



春季消防演習 5/1

日高中部消防組合静内消防団第4分団による、春季消防演習が静内御園で行われ、団員は林野火災を想定した防ぎょ訓練などを通し、防災技術の向上に努めました。



町民ハイキング 4/29

町教育委員会主催の『町民ハイキング』が開かれ、町公民館前からうぐいすの森（静内真歌）までの約3kmのコースを歩き、参加者は春の散策を楽しみました。